

高浜市指定無形民俗文化財

高浜おまんこと祭り



10月4日(土)・5日(日)開催
場所 春日神社・八剱社

高浜おまんこと祭りは、駆ける馬と人が一体になって勇敢に走る姿が二ユースにも取り上げられ、市外県外からも多くの見物客が訪れます。その歴史は、最も古いもので享和3年(1803年)の記録が残っており、雨乞いの祭礼が特に日を定めずに行われ、獅子が奉納されていたとされています。

祭りのシンボルの神馬は、元来、雨乞い祈願に黒馬とされていますが、近年は白馬も見られるようになりました。

「チャラボコ」と呼ばれる独特のお囃子の音色が、祭りを盛り立てます。朝、この音色がまちに響くとおまんこと祭りののはじまりです。

今も行われませんが、昭和44年まで、春日神社への途中で「トオシ」という直線の道路で馬を走らせる催しがありました。まちなかを疾走する馬の姿を想像するだけで大迫力ですね。

明治時代より10月3日、4日に行われていましたが、昭和51年から10月の第1日曜日とその前日に行われるようになりました。土日に変更される前は、祭りに参加する子どもたちは、学校が休みになったといえます。それほど、まち全体が祭り一色であったことがうかがえます。時代の流れの中で変化をとげながらも、市民にこよなく愛され続けているこの祭り。ぜひ、皆さん家族でお出かけください！

【参考文献】高浜市誌資料(八)「高浜のおまんこと」



▲祭りのシンボルである“神馬”
背に飾った御幣(ごへい)は縁起物として祭りのあとに配られる。
(写真は昨年。今年の神馬は碧海町)

問合せ先

市文化スポーツグループ

☎ 52-1111 (内線 330)